

高等部総合サービス科 流通・サービス科学習指導案

日 時：令和6年12月4日（水）10：15～11：20

場 所：第二校舎学習室

生 徒：3年生2名（男子2名）

1年生8名（男子3名、女子5名） 計10名

指導者：中野貴洋（T1）、菊地奈都子（T2）

1 題材名

「ビルクリーニング」～ダストクロス作業、水拭きモップ作業～

2 生徒と題材

（1）生徒について

3年生男子2名、1年生男子3名、女子5名の学習集団である。全員が卒業後、一般就労を目指し、3年生はこれまでに4度の現場実習を実施し、今後も個別実習を予定している。また、1年生は11月に初めての現場実習を実施した。

3年生の2名は、第23回秋田県障害者技能競技大会「ビルクリーニング部門」に参加し、金賞、銀賞を受賞した。その内1名は11月に行われた第44回全国アビリンピックに出場し、清掃技術が高まり、自信を付けて清掃している。また、現場実習の評価や学校生活を通して、「自分の考えを具体的に伝える」、「他者と積極的に関わる」ことを課題としていたが、後輩に教える経験を他の場面でも積み重ねる中で、後輩に「どのように伝えたらよいか」と自ら考えたり、3年生同士で相談したりする姿が見られた。

1年生8名は、担当教員、外部講師（友愛ビルサービス）から、清掃作業に必要な資機材の名称、清掃業務の内容や方法、仕事に向かう態度等についての学習を積み重ねてきている。また、新屋地域の保育所や町内会館等での実践的な清掃活動（外部清掃）を行っており、状況に応じた清掃方法や効率化、挨拶等の作業態度に関して、基礎的・基本的な内容を学習している。

指示が複数ある場合は、個別に具体的な指示を要する生徒もいるものの、全員が簡単な口頭指示や文章を理解し行動できる。言語表出に関しては、言葉、文章で自分の意思を伝えられる。また、1年生は経験が少なく自信がないため、1度間違えると「もうできない」「無理だ」と発言することもあるが、教師や友達からの励ましを受け、再度挑戦する姿が増えてきている。

ダストクロス作業では、1年生が3年生の作業の様子をメモ取りしながら学ぶ姿、3年生が1年生に動作を交えながら作業方法を説明する姿が多く見られた。話し合い活動では、「〇〇はできた」、「△△はできなかった」等の成果と課題を全員の生徒が発言した。しかし、「△△ができなかったので次は□□したい」等の改善点まで深めることができなかった。

（2）題材設定理由

総合サービス科では、1年次は専門3教科（家政、流通・サービス、福祉）の基礎基本の学習、2年次は専門3教科の応用、3年次は卒業後の進路を見据えて一つの専門教科を選び、専門的・実践的な学習を行っている。

「流通・サービス」においては、外部講師の指導の下、清掃作業に必要な資機材の扱いや清掃技術を身に付ける。ビル清掃やホーム清掃の実践的な技術習得と地域の事業所の清掃を行っている。また、6S環境（整理、整頓、清掃、清潔、躰、習慣）と挨拶の励行を常に意識できるよう、学習の中に取り入れている。学校で学んだ技術や態度等は、学校生活のみならず、家庭生活、職業生活を含め、生涯を通し実践してほしいと考えている。

本題材では、「ビルクリーニング」の学習を通して、基礎的・基本的な知識（資機材の名称、扱い方、作業に向かう態度等）や技術（ダストクロス作業、水拭きモップ作業等）を高め、自分の行動に自信をもち、活動する姿を目指す。また、指定された場所（校内清掃、食堂清掃）や状況に応じた適切な清掃（外部清掃）を時間内に終える方法が分かり、自分や周囲の安全、衛生に気を付け、仕上がりの美しさや使う人の気持ちを考えて清掃する姿を目指す。そして、流通・サービスの授業のみならず、学校生活全般を通して互いのよさを認め合い、自分から考え判断して行動し、自分の思いや考えを相手に伝える姿を目指したい。さらに卒業後、自分の行動に自信をもち、様々な活動に挑戦しようとする意欲や分からないことは自分から調べたり、周りの人に質問したりする等、学び続ける社会人になることを期待し、本題材を設定した。

(3) 指導について ※下線は各学部学科の研究テーマに関連した手立てを示している。

【児童生徒一人一人が自ら活動したり、考えたりすることができる状況づくり】

- ・「流通・サービス」の全ての授業は、「目標を立てる、清掃する、成果・課題・改善点を考える」を一連の流れとして実施している。
- ・導入において、学習目標をあえて空欄にし、生徒自らがキーワードを考え、発表する場面を設定したり、資機材の名称を問い掛けたりする。また、生徒が進んで学習に取り組めるよう、一目で学習目標、学習予定等が分かるような板書とし、図入りの簡略化した作業手順表を準備する。
- ・展開において、3年生が1年生に教える場面は、見守る姿勢を基本としながら、教師間で生徒の理解度を把握し、「動作を付けながら説明する」「そこはどうする」等、教師が具体的に指導する、抽象的に助言する等を行き来しながら柔軟に対応する。
- ・まとめにおいて、生徒が互いのよさを認め合えるよう、技術面、態度面でよさが現れた行動を教師が紹介する。また、清掃の仕方や清掃態度等に問題意識を喚起できるよう、「なぜ必要なのか」「どのように改善するとよいのか」等を問い掛ける。
- ・生徒同士で清掃の仕方を学び、振り返りできるよう、3年生が参加した第23回秋田県障害者技能競技大会や全国アビリンピックの「ビルクリーニング部門」の動画を視聴しながら、教師が、「なぜ、何のために〇〇の工程を行うのか」等を理由付けしながら、説明する機会を設定する。
- ・1年生は、自分の清掃動画を振り返ることに抵抗が高いため、自信をもって清掃する姿が見られるようになってから、動画で振り返る機会を設定する。

【自然な協働性を生むテーマ設定や学習活動、学習集団の工夫】

- ・3年生は1年生に清掃の仕方や態度等を教える、1年生は3年生に質問したり、助言を受けたりする等、お互いに学び合う機会を設定する。
- ・生徒が互いに清掃の様子を評価、考察し、改善点を話し合い、実践する機会を設定する。
- ・グルーピングは、3年生1名に対して1年生4名とする。Aコートの3年生は言葉での説明が得意であり、1年生は言葉での説明を記録に残し、自分で振り返ることが得意な生徒の多いグループとする。Bコートの3年生は、体を動かしながら説明することが得意であり、1年生は見て覚えることが得意な生徒の多いグループを配置する。
- ・話し合い、教え合いが活発になるよう、清掃ポイント（ダストクロス作業5つ、水拭きモップ作業5つ）を限定する。
- ・授業以外の時間において、事前に3年生には1年生に教える清掃ポイント、1年生には3年生には何を聞いてもよいことを伝える。事後に3年生には教え方、1年生には質問の仕方等を評価することで、3年生と1年生が話しやすい状況づくりを行う。

【多様な場や人材の活用】

- ・流通・サービスの授業で学んだ清掃技術を生かす校内清掃、食堂清掃、外部清掃の機会を設定するとともに、他学年、他学部の職員、地域の方から評価していただく機会を設ける。
- ・外部講師（友愛ビルサービス）から助言、指導していただく機会を設ける。

3 題材目標 ：知識及び技能 ：思考力・判断力・表現力等 ：学びに向かう力・人間性等

<3年生>

- (1) 1年生に清掃技術等を教えたり、成果や課題等を伝えたりする活動を通して、ビルクリーニングの基礎的・基本的な知識や技術を再確認する。
- (2) 清掃の仕方や態度等を具体的に1年生に伝える方法を考えたり、実際に教えていく中で臨機応変に対応する力を身に付けたりする。

<1年生>

- (1) 3年生から清掃技術等を実際に教わったり、動画で振り返ったりする活動を通して、ビルクリーニングの基礎的・基本的な知識や技術を習得する。
- (2) 先輩からの助言や友達との話し合いを通して、自分のよさや課題が分かり、活動への自信や意欲を高める。

4 題材計画（総時間数 14 時間／本時 4 時）

時	学習内容	学習活動	評価基準（ <input type="checkbox"/> 知 <input type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> 学）
4 (4/4)	ビルクリーニングを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者技能競技大会動画視聴（1年生のみ） ・清掃手順表の読み取り（ダストクロス作業） 	<3年生> ・学習してきたことを後輩に伝える。 <input type="checkbox"/> 知 <input type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> 学
		<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の見本演示・説明 ・1年生の練習、振り返り（ダストクロス作業） 	<1年生> ・基礎的、基本的な知識や技術を覚える。 <input type="checkbox"/> 知
10	ビルクリーニングを実践しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・全国アビリンピック動画視聴（1年生のみ） 	<3年生> ・1年生のよさや改善点を見付け、具体的に伝える。 <input type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> 学
		<ul style="list-style-type: none"> ・3年生は1年生の評価、助言 ・1年生は実践、振り返りを繰り返す 	<1年生> ・全体の前で手順に沿って清掃する <input type="checkbox"/> 思 <input type="checkbox"/> 学

5 生徒の実態と目指す姿

Aコート

氏名・性別	実態	題材を通して目指す姿 (自ら学び続ける子どもにつながる姿)
A 3年男	第23回秋田県障害者技能競技大会において金賞を受賞し、11月の全国大会に出場した。 1年生に教える経験は少なく、照れからふざけた口調で話すことがある。 ダストクロス作業を教える場面では、動作に理由付けしながら説明する姿が多く見られた。	1年生のよさや課題を見付け、自分の考えを相手が分かるよう具体的に伝える。
B 1年女	清掃手順を覚えることに時間は掛かるが、自分から繰り返し練習して覚える。 自分の清掃に自信がなく、うまくできるか不安な気持ちから教師や友達に質問が多くなる。 ダストクロス作業のポイントをしっかりメモに取り、疑問点は教師に質問していた。	自分で決めた清掃ポイントを理解し、自信をもって活動する。
C 1年女	清掃手順をすぐに覚え、資機材をスムーズに操作しながら清掃する。 自分から友達に話し掛けることは少ないが、友達同士の話を聞き、場に応じた行動をする。 ダストクロス作業のポイントを1回で把握し、自ら練習する姿が見られた。	自分から先輩に質問したり、友達と相談したりしながら清掃する。
D 1年女	清掃手順を覚えることに時間は掛かるが、自分から繰り返し練習して覚える。 自分の清掃技術に自信がなく、新しいことへの挑戦を躊躇する。 ダストクロス作業のポイントをメモに取り、疑問点は教師や友達に質問していた。	自分で決めた清掃ポイントを理解し、自信をもって活動する。
E 1年男	清掃手順をすぐに覚え、資機材をスムーズに操作しながら清掃する。 話し合い活動では、友達のよさを見付け発言するが、課題を伝える際に口調が厳しいこともある。 ダストクロス作業のポイントを把握し、自ら繰り返し練習する姿が見られた。	友達の具体的な改善点を優しい口調で伝えながら、自身の清掃活動を振り返る。

Bコート

氏名・性別	実 態	題材を通して目指す姿 (自ら学び続ける子どもにつながる姿)
F 3年 男	第23回秋田県障害者技能競技大会に本校代表として出場し、銀賞を受賞した。 1年生に教える経験は少なく、質問には答えるが、自分から発言することが少ない。 ダストクロス作業を教える場面では、動作を繰り返し演示しながら説明する姿が多く見られた。	1年生のよさや課題を見付け、自分の考えに自信をもって、相手に伝える。
G 1年 女	清掃手順を覚え、周りの状況を把握しながら清掃する。 話し合い活動では、「よかったよ」等、抽象的に友達の良い点や改善点を伝えることが多い。 ダストクロス作業の手順を友達の清掃状況からも学ぼうとする姿が見られた。	友達に良い点や改善点を具体的に伝えながら、自身の清掃活動を振り返る。
H 1年 男	清掃手順は短期間で覚えるが、数日経つと忘れてしまい、教師に質問しながら清掃する。 話し合い活動では、自分の主張を通そうとすることが多い。 ダストクロス作業のポイントを把握し、自ら繰り返し練習する姿が見られた。	教師や友達の意見を受け入れ、改善しながら清掃する。
I 1年 女	清掃手順を覚え、周りの状況を把握しながら清掃する。 話し合い活動では、友達のよさを見付け発言するが、課題を伝える際に口調が厳しいこともある。 ダストクロス作業の手順を友達の清掃状況からも学ぼうとする姿が見られた。	友達の具体的な改善点を優しい口調で伝えながら、自身の清掃活動を振り返る。
J 1年 男	清掃手順は短期間で覚えるが、数日経つと自己流で清掃することがある。 話し合い活動では、「〇〇がよかったよ」等、具体的に友達の良い点や改善点を伝えることが多い。 ダストクロス作業の手順を友達の清掃状況からも学ぼうとする姿が見られた。	自分から先輩に質問したり、友達と相談したりしながら清掃する。

6 本時の計画 (14 時中の 4 時)

(1) 本時のねらい

- <3年生>後輩一人一人に応じたポイントを絞った水拭きモップ作業を教える。
- <1年生>先輩の演示を見たり、実際に体験したりしながら水拭きモップ作業を覚える。

(2) 学習過程 ※下線は各学部学科の研究テーマに関連した手立てを示している。

時間 (分)	学習活動	教師の働き掛け、指導上の留意点
5	導入 1 本時の学習課題と学習予定を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 S 環境、挨拶の励行の確認をする。 ・ 学習課題に気付けるよう、「<u>〇〇の仕方を覚えよう</u>」等のキーワードを空欄にした板書をする。 ・ 本時の学習に見通しがもてるよう、<u>授業前に学習の流れについて板書</u>をする。

50	展開	<p>2 3年生が水拭きモップ作業をする。 演示：A 説明：F</p> <p>3 1年生が水拭きモップ作業をする。</p> <p>4 清掃状況を振り返る。</p> <p>※3、4を繰り返し行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら気づき、考えられるよう、<u>清掃動作の説明をしたり、清掃手順の番号のみを伝えたりする等、生徒の理解度に応じて柔軟に働き掛ける。</u> ・清掃の仕方を覚えられるよう、<u>図入りの清掃手順表を準備したり、生徒同士で意見交換する場を設定したりする。</u> ・生徒同士の話し合い活動において、<u>「なぜ必要なのか」「次はどうすればよいか」等を質問する。</u> ・生徒同士の話し合いが活発になるよう、AコートはT1、BコートはT2が主担当として、<u>生徒に問い掛けたり、生徒の発言を分かりやすく説明したりする。</u> ・具体的な改善点について話し合いができるよう、<u>「△△が課題だったので、次は□□するようにしたい」と例文を提示する。</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Aコート</p> <p>A：○清掃方法を言葉と動作で分かりやすく説明する。 →事前に伝える水拭きモップ作業のポイントを確認する。</p> <p>B：○先輩の清掃を見て、大まかな手順を覚える。 →清掃手順表に必要事項を記録する。</p> <p>C：○先輩や友達からの助言を受け入れ、実際に清掃し、水拭きモップ作業のポイントを覚える。 →清掃手順表を準備し、「何がポイントですか」等の気づきを促す発問をする。</p> <p>D：○先輩の清掃を見て、大まかな手順を覚える。 →清掃手順表に必要事項を記録する。</p> <p>E：○先輩や友達の清掃を見て、水拭きモップ作業のポイントを覚える。 →清掃手順表を準備し、「どうすればきれいに清掃できますか」等の具体例を発言できる発問をする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Bコート</p> <p>F：○清掃方法を動作と言葉で分かりやすく説明する。 →事前に伝える水拭きモップ作業のポイントを確認する。</p> <p>G：○先輩や友達からの助言を受け入れ、実際に清掃しながら、大まかな手順を覚える。 →清掃手順表を準備し、「何がポイントですか」等の気づきを促す発問をする。</p> <p>H：○先輩や友達の清掃を見て、清掃手順を覚える。 →清掃手順表を準備し、「次は何番ですか」等の気づきを促す発問をする。</p> <p>I：○友達に助言をしながら、水拭きモップ作業のポイントを覚える。 →清掃方法を動作と言葉で分かりやすく説明できるよう、「やって見せて」等の促す言葉掛けをする。</p> <p>J：○先輩や友達の清掃を見て、大まかな手順を覚える。 →清掃手順表を準備し、「次の手順は何ですか」等の気づきを促す発問をする。</p> </div>
10	まとめ	<p>5 成果と改善点を発表する。</p> <p>6 改善点を確認し、次時への意欲を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果と改善点を明確に発表できるよう、<u>項目立てたホワイトボードを準備し、各コート1名が発表する場面を設定する。</u> ・改善点を明確にするよう、<u>3年生が演示する場面を設定する。</u> ・生徒の自信や意欲を高められるよう、<u>教師から水拭きモップ作業の技術面や教え方、教わり方の態度面について評価する。</u>

(3) 評価

＜生徒の評価＞

(3年生)・先輩に具体的な清掃方法を演示、説明したか。

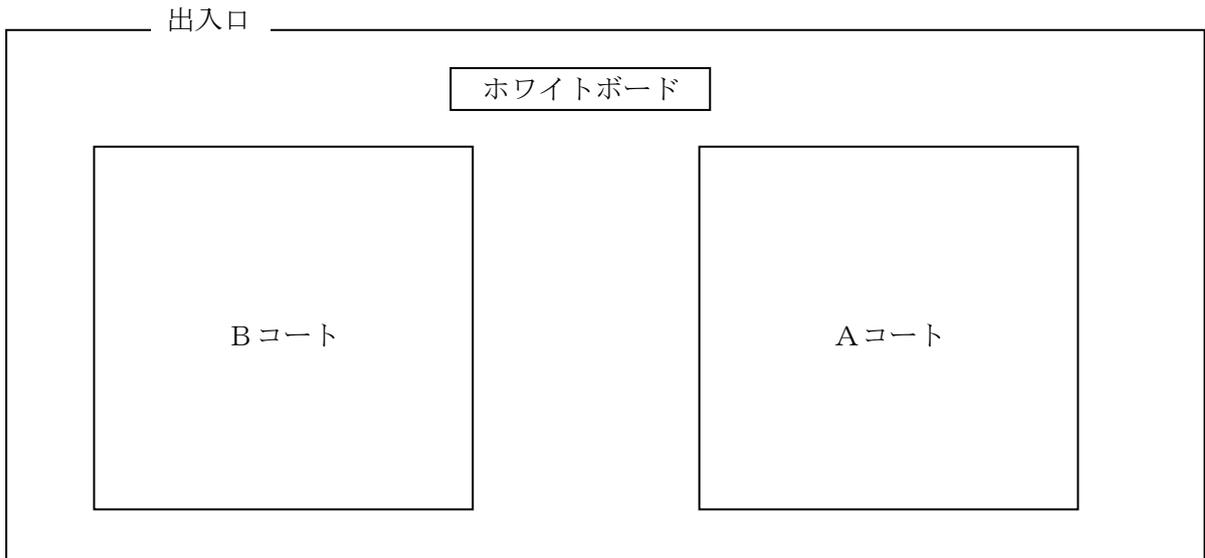
(1年生)・先輩の演示を見たり、実際に体験、振り返りをしたりすることで清掃手順を覚えたか。

＜教師の手立ての評価＞

・生徒同士でよさや改善点を活発に意見交換できるようなグルーピングの設定、言葉掛けのタイミングや内容、場面設定等を工夫できたか。

(4) 配置図と板書計画

【配置図】



【板書計画】

目標：○○○○○○作業の仕方を覚えよう→○○○○や○○○○、○○○○に生かそう			
<p>学習内容</p> <ol style="list-style-type: none">1 先輩の○○作業を見る。2 ○○作業をする。 一人1回以上3 成果と改善点を話し合う。4 各コート代表1名が発表する。	<p><u>水拭きモップ作業</u></p> <p><u>ポイント</u></p> <p>A 枠取り B 手拭き C 机下 D うしろ拭き E 脱出拭き</p> <p><u>清掃手順表</u></p>	<p>Aコート 成果</p> <p>改善点 「△△が課題だったので、次は□□するよ うにしたい」</p>	<p>Bコート 成果</p> <p>改善点 「△△が課題だったので、次は□□するよ うにしたい」</p>